

佐井寺小学校の校区変更についての説明会資料

平成14年(2002年)5月12日

1 通学路の安全対策について

先の説明会でいただいた意見、あるいは地域の皆様からご指摘をいただきました場所について、本市の建設緑化部及び吹田警察署とも協議を重ねました。その中で現在本市が検討している内容及び今後の対応の見通しについて、個々具体的に説明させていただきます。

2 兄弟姉妹の通学校が変更されることについて

できるだけ早く適正規模に近づけることを教育委員会としては考えておりますので、基本的には在校生の方も含めてできるだけ新しい校区の学校に移っていただきたいと考えておりますが、説明会において、多くの保護者からいただいた意見については、心情的には理解できるものと考えています。平成15年度以降に入学する弟妹が兄姉と同じ学校に通学できるようにした場合の児童の推計や、今後の保護者の方への予備調査等の結果を踏まえながら弾力的に扱う方向で検討していきます。

在校生の予備調査について

6月頃に予備調査を実施し、最終的な希望調査は11月頃に実施したいと考えています。

3 将来の児童推計の見通しについて

小学校は4月8日の在校生、0歳から5歳児については、住民基本台帳から地区別に児童数を推計しています。今後の児童生徒数の推移予測については、昨年6月に、0歳から5歳児までの子どもの数を基礎にして、平成19年度までの児童・生徒数推計を実施しました。なお、推計を行った時点で開発申請が出されていたマンション等については、戸数から予測される児童・生徒数の増加を推計に組み入れています。

地域における児童・生徒数は厳しい社会経済状況の中で、絶えず変動しており長期にわたって将来の正確な予測をすることは非常に困難です。特に、今後開発を予

定している区画整理地区内あるいは生産緑地内の状況についても、現在開発申請が提出されているもの以外の推計を具体的に見込むことは、市役所内関係所管においても困難な状況です

4 今回の計画を白紙に戻すことについて

小中学校の規模適正化については、平成12年～13年にかけて学識経験者や学校等の代表者等による「吹田市立学校適正規模検討会議」を設置し、適正規模の考え方や今後の適正化の方向について議論してきました。その後検討会議の意見書をもとに教育委員会としては、良好な教育環境を目標に、本年3月4日に適正規模についての基本的な考え方と規模適正化第1期実施計画を決定しこれに取り組んでいます。この取組みは、児童・生徒にとっての教育効果向上の観点からも実施する必要があり、ぜひとも保護者や地域の皆様のご理解とご協力のもとで進めてまいりたいと考えています。

5 通学校が異なる場合の学校間の行事の調整について

学校行事やPTA行事などについては各学校で決定することですが、特別な事情でもあるので、各学校にはできるだけ配慮されるようお願いしています。

6 校区変更ではなく施設の増築での対応について

市内全域において、小規模校と大規模校が存在しアンバランスな状況が起こっている中で、大規模校の解消は校区変更で行うことを基本的な考え方としています。

なお、千里新田小学校は14年度に3教室を増築予定、佐井寺小学校は平成11年度に4教室を増築しています。

平成13年度	児童1人あたりの面積比較 単位:m ²		
	校舎面積	運動場面積	体育館面積
佐井寺小学校	6.09	6.66	0.77
佐竹台小学校	13.81	14.64	1.95
千里第二小学校	11.39	12.97	1.09
千里新田小学校	6.33	7.12	0.82
桃山台小学校	20.59	23.00	2.47
千里第三小学校	9.75	11.65	1.23
吹田市平均	11.82	12.70	1.47

上記の表のように千里新田小学校と佐井寺小学校は他校と比較しても低い水準

となっています。

したがって、これ以上の増築は学校運営上も適切ではないと考えています。

7 今後の情報公開について

市報「すいた」やホ - ムペ - ジの掲載により情報を公開していきます。

8 自治会等地域の団体等の活動への影響について

校区変更に伴う自治会等地域の団体につきましては、過去の校区変更に際してもその都度対象の団体内部で検討され、これまで校区の変更が行われても、自治会等組織は従来どおりとしているところ、あるいは相当長い年月を経て、新校区に沿った組織作りが行われたところ等、実態は様々です。

このたび地域の皆様方には、大変ご無理をお願いする中で、教育委員会といたしましてもこれまでの活動経過も考慮しながら、今日の地域コミュニティが損なわれることのないように、関係部局に申し入れていきたいと考えています。

9 通学路の安全対策について

佐井寺4丁目と佐竹台3丁目の間の千里緑地内に園路、佐井寺4丁目43番北側に信号の設置。(地図Aの場所)

佐井寺4丁目と佐竹台3丁目の間の道路は幅員が狭く歩道を確保することができないため、現在、千里緑地内に園路を設置する方向で市建設緑化部と協議を行っています。また、当該園路から生協前を東西に横断する信号の設置など安全対策について警察署と協議を行います。また、現在時間規制されている道路の取り締まり強化について警察署に強く要望していきます。

佐井寺3丁目24番北側から佐竹台4丁目ねむのき公園に下る小道の整備。(地図Bの場所)

街灯・手すりの設置、樹木の伐採については今年度中の実施に向け検討してまいります。なお、視覚障害者にはスロープ構造が必要であり一定の配慮が必要と考えています。その際、表面の滑り止め対策の実施を同時に検討してまいります。

佐竹台小学校の裏門の設置。(地図 B の場所)

佐竹台小学校に裏門を設置して、佐井寺 3 丁目 2 4 番北側の小道から直接佐竹台小学校に下る階段をつけることも検討しています。

佐井寺 3 丁目の中を歩いて佐竹台へ行く道の整備。(地図 C の場所)

佐井寺 3 丁目 2 0 番のサンマルク前に信号機を設置すること及び佐井寺小学校西側(体育館横)の道路の安全対策について建設緑化部や警察署と協議しています。

1 0 地域の犯罪事件の発生状況。

平成 1 3 年(2001 年)1 月～1 2 月の防犯支部別の犯罪発生状況については、佐井寺地区の場合凶悪犯は 0 件、粗暴犯が 2 件、窃盗が 1 9 9 件、知能犯が 1 件、その他の刑法犯が 2 5 件という状況です。また、変質者などの問題については、市内全域にわたる問題であり、警察などの関係諸機関との連携や地域諸団体の協力も得ながら安全確保に努めていきたいと考えています。

1 1 佐井寺 4 丁目自治会において共に活動している千里山高塚地区についても、佐竹台小学校に通学することについて。

教育委員会としては、町を単位とした校区割りが基本と考えていますが、千里山高塚地区の方々の意向も把握しながら、弾力的な対応が可能かどうか検討します。

1 2 千里山高塚区画整理地区の今後の開発計画について。

千里山高塚地区の土地区画整理については、開発面積約 2 . 2 h a の中に街路や公園・緑地とともに集合住宅や戸建の建設が予想されますが、開発面積は狭く、集合住宅が開発された場合の児童生徒数の増加(過去の集合住宅の開発実績から割り出した子どもの出現率で算出)を見込んで、千里第二小学校の適正規模を維持しながら校区変更が可能と考えています。

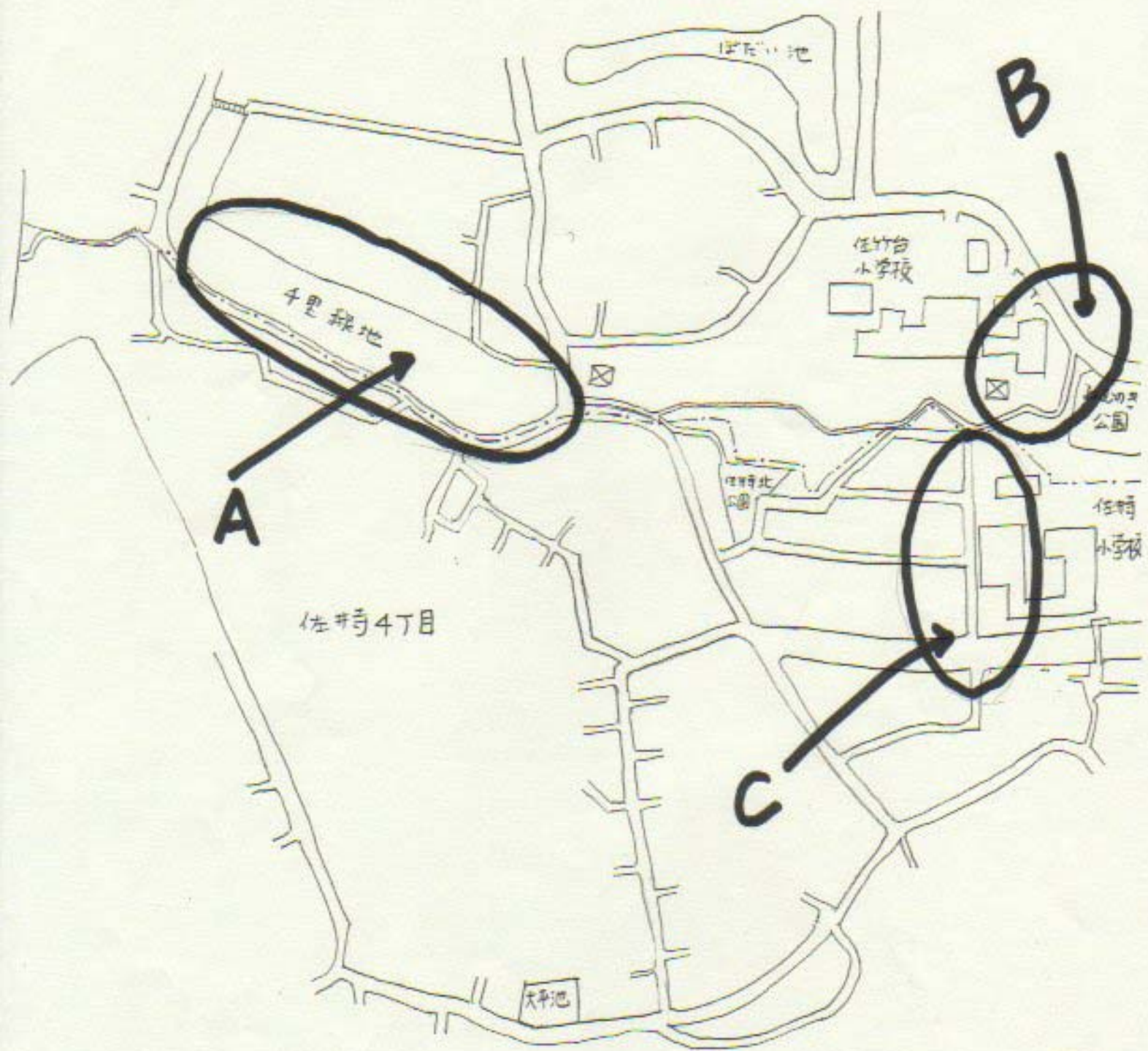
現在、3 ヶ所において全体戸数 1 0 2 戸のマンション開発計画があります。

1 3 千里山団地の建替えについて

都市基盤整備公団の千里山団地の建替え事業は、概ね 5 ~ 1 0 年を目途に着手することが見込まれていますが、具体の時期につきましては、今後諸状況を勘案して

決定することとされており、具体的な建替え計画の把握はできておりません。

現在、千里山団地では2ヶ所において全体戸数126戸のマンション開発計画があります。(そのうち82戸のマンションについては推計に入っています)



----- 現在の校区境界線

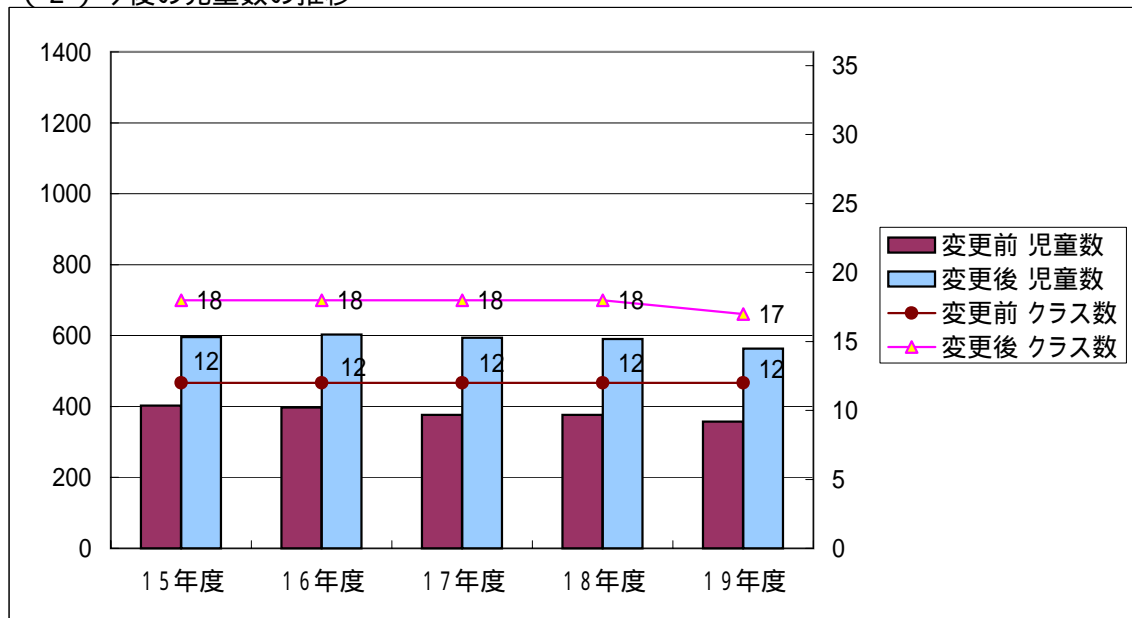
1. 今後の佐竹台小学校の児童数の推移

(1) 平成14年度の児童数

平成14年4月8日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	養護学級	計
児童数	64	66	56	70	62	65	7	390
学級数	2	2	2	2	2	2	2	14

(2) 今後の児童数の推移



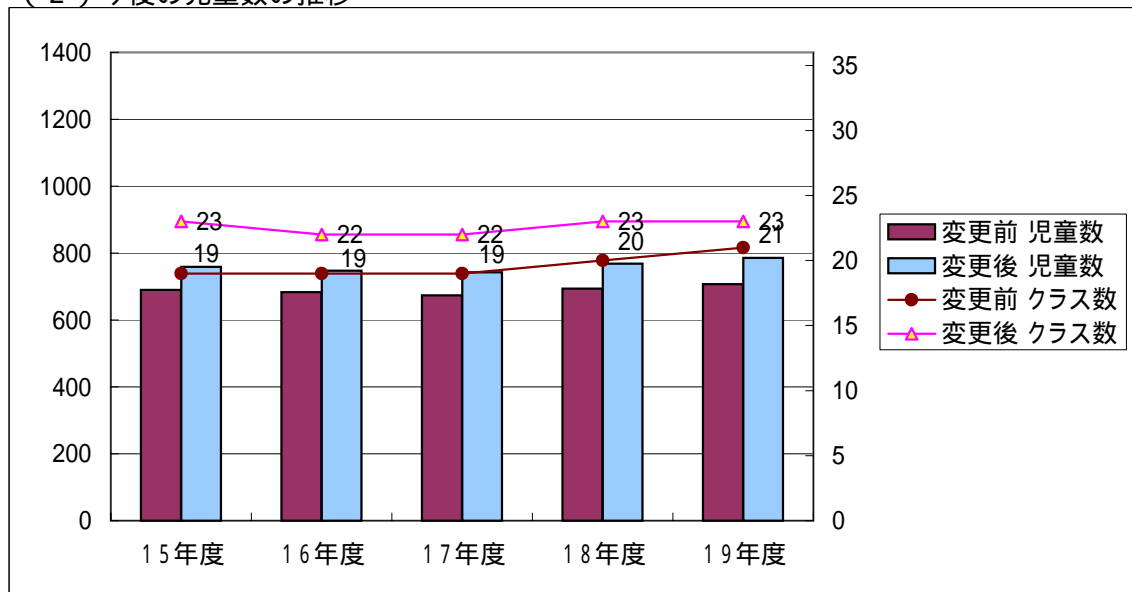
2. 今後の千里第二小学校の児童数の推移

(1) 平成14年度の児童数

平成14年4月8日現在

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	養護学級	計
児童数	115	115	107	111	116	114	9	687
学級数	3	3	3	3	3	3	2	20

(2) 今後の児童数の推移

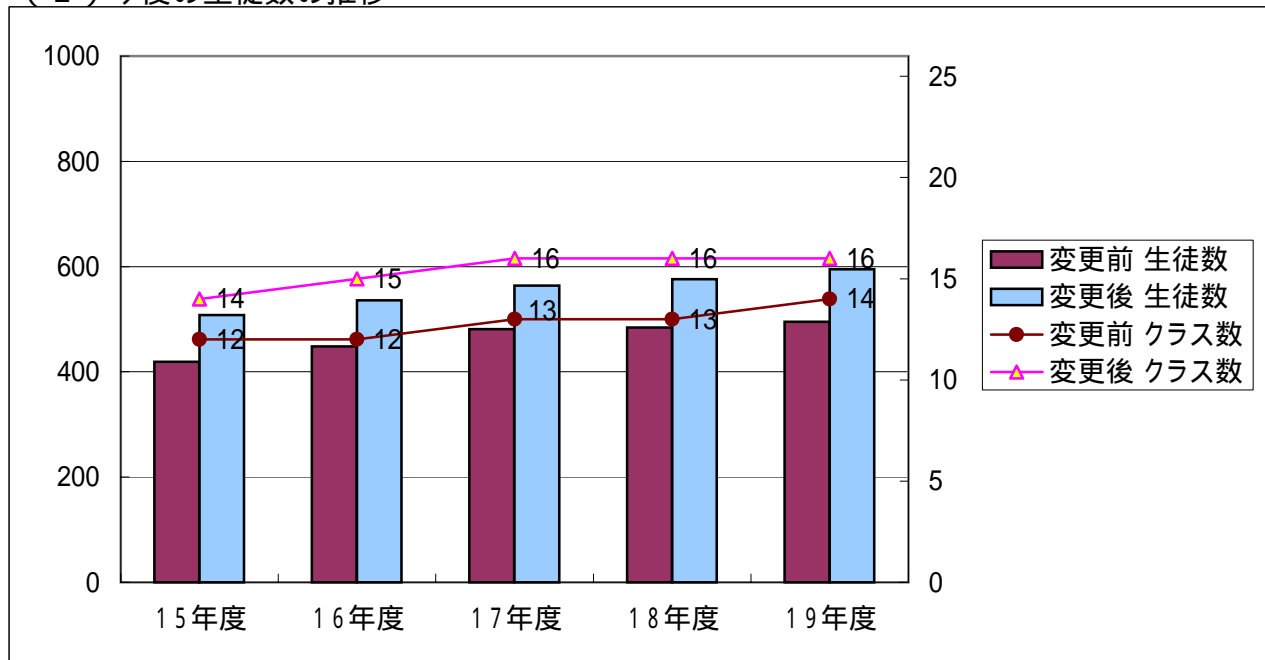


3. 今後の高野台中学校の生徒数の推移

(1) 平成14年度の生徒数 平成14年4月8日現在

	1年	2年	3年	養護学級	計
生徒数	132	118	123	1	374
学級数	4	3	4	1	12

(2) 今後の生徒数の推移



4. 今後の第一中学校の生徒数の推移

(1) 平成14年度の生徒数 平成14年4月8日現在

	1年	2年	3年	養護学級	計
生徒数	194	198	245	7	644
学級数	5	5	7	2	19

(2) 今後の生徒数の推移

